

登録コード	MA003300		開講年度	2026			
授業科目名	人工内耳実習					担当教員	工 穰
英文授業名	Practice on Cochlear Implant					副担当	吉村 豪兼
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	・不定期		対象専攻／学年
講義室				授業形態	実習	授業科目区分	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇄	
	MS 2 6 カリ(医科学)・医科, MS 2 5 カリ(医科学)・医科, MS 2 4 カリ(医科学)・医科, MS 2 3 カリ(医科学)・医科						
	【医科学】基礎医学および臨床医学に対する基本的知識、技能および技術を修得し、自主的に検討することができる。				⇄	人工内耳によるマッピングやリハビリテーションに関する知識と技術を習得する	
(2)授業の概要	聴力検査, 前庭検査機能の実習を行う。人工内耳, 残存聴力活用型人工内耳（EAS）のインプラント植込手術中の神経反応テレメトリー（NRT／ART）, EABR, EAEPの測定, 補聴器や人工聴覚機器（人工内耳, EAS, 人工中耳, 骨導インプラント）の調整, 評価の実習を行う。評価結果をもとに（リ）ハビリテーション計画の立案を行う。						
(3)達成目標（一般学習目標G I O）	聴力評価の手順を体得する。評価の結果を深く理解し, 最適な人工聴覚機器の調整を行い, （リ）ハビリテーション計画の立案についての知識を学ぶ。						
(4)達成目標（個別行動目標S B O s）	補聴器や人工聴覚機器に関わる諸検査や調整（マッピング）が一通り行える。適切に授業評価を行い, 結果を解釈し, （リ）ハビリテーションの目標を立て, 実施することができることを目標とする。						
(5)授業計画	・聴覚検査（実習） ・精密聴力検査・語音聴取検査 ・補聴器のための検査（補聴器適合検査） ・人工聴覚機器のための検査 ・人工内耳のマッピング①（メドエル） ・人工内耳のマッピング②（コクレア） ・EASのマッピングと補聴援助システムの設定 ・人工中耳・骨導インプラントの調整 ・小児の（リ）ハビリテーション①（きこえの評価と発達について） ・小児の（リ）ハビリテーション②（ことばの評価と発達について） ・成人のリハビリテーション ・前庭機能検査						
(6)授業の進め方	指定された実習日に集中講義を行う。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	準備が必要な場合は, 適宜講義中に示す。						
(8)成績評価の方法	・授業項目ごとの実習内容で評価する。 ・達成目標への到達については最終実習試験または最終レポートで評価する。						
(9)成績評価の基準	補聴器や人工聴覚機器に関わる諸検査や調整（マッピング）, 適切な調整評価, （リ）ハビリテーションの計画・実施などの実習試験で60点を取れば可とする。 なお, 成績評価の基準は90－100点：秀 80－89点：優 70－79点：良 60－69点：可とする。						
(10)学生へのメッセージ並びに質問, 相談への対応	各回の実習に対して予習・復習を行ってこること。自主学習も行うこと。 副担当者：権田綾子（言語聴覚士）						
【テキスト, 教材, 参考書】							